TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	ITリテラシー1		担 当 者 名	青島 由美子	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	本科目は資格取得に重点を置いた科目である。コンピュータ関連の用語をはじめとする基礎知識と、情報処理技術者に必要な知識を得ながら、随時各試験への対策を実施。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	情報処理技術に関するハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの用語・技術を学び、専修学校教育振興会主催の情報検定(J検)情報活用3～1級の合格を目指す。また、国家試験であるITパスポートのテクノロジー部分の知識を習得し、1年次末までにITパスポート試験の全員合格を目指す。				
授業概要	テキスト「ITワールド」を使用。 講義内容の反復演習と、授業内で行う小テストで知識修得度を確認しながら、日々の努力を続けることだけが資格取得につながるという意識を持って授業に臨んでほしい。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	科目ガイダンス	19	ITパスポート範囲　マネジメント系　システム開発技術
	2	情報検定(J検)3級範囲　パソコンの基礎	20	ITパスポート範囲　マネジメント系　ソフトウェア開発管理技術
	3	情報検定(J検)3級範囲　インターネットの基礎	21	ITパスポート範囲　マネジメント系　プロジェクトマネジメント
	4	情報検定(J検)3級範囲　情報モラル	22	ITパスポート範囲　マネジメント系　サービスマネジメント
	5	情報検定(J検)2級範囲　経営戦略	23	ITパスポート範囲　マネジメント系　システム監査
	6	情報検定(J検)2級範囲　マネージメント	24	ITパスポート範囲　テクノロジー系　基礎理論
	7	情報検定(J検)2級範囲　データ構造	25	ITパスポート範囲　テクノロジー系　アルゴリズムとプログラミング
	8	情報検定(J検)2級範囲　アプリケーションソフトの活用	26	ITパスポート範囲　テクノロジー系　コンピュータ構成要素
	9	情報検定 過去問題解答　その1	27	ITパスポート範囲　テクノロジー系　システム構成要素
	10	情報検定 過去問題解答　その2	28	ITパスポート範囲　テクノロジー系　ソフトウェア
	11	ITパスポート範囲　ストラテジ系　企業活動	29	ITパスポート範囲　テクノロジー系　ハードウェア
	12	ITパスポート範囲　ストラテジ系　法務	30	ITパスポート範囲　テクノロジー系　ヒューマンインタフェース
	13	ITパスポート範囲　ストラテジ系　経営戦略マネジメント	31	ITパスポート範囲　テクノロジー系　マルチメディア
	14	ITパスポート範囲　ストラテジ系　技術戦略マネジメント	32	ITパスポート範囲　テクノロジー系　データベース
	15	ITパスポート範囲　ストラテジ系　ビジネスインダストリ	33	ITパスポート範囲　テクノロジー系　ネットワーク
	16	ITパスポート範囲　ストラテジ系　システム戦略	34	ITパスポート範囲　テクノロジー系　セキュリティ
	17	ITパスポート範囲　ストラテジ系　システム企画	35	後期期末試験
	18	前期期末試験	36	後期期末試験の解答解説及び総評

成績割合				
	テスト	70%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	20%	成績評価	成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定する また、受験した資格試験結果も成績に加味する
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	通信制御のシステム開発を経験後、大手情報系企業のネットワークSE向け教育プロジェクト一員にトレーナーとして配属され、情報の普及、教育トレーナー養成の業務に従事。その間、2度のAward Trainerの栄誉を受賞。多数の情報系有資格者。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	プログラミング1		担 当 者 名	池田 真太郎	
学 科	情報システム科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	216時間
授業目的	プログラミングの方法を理解し、基本的なプログラムの原理を理解することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Java言語を用い、プログラムの基本要素である順次選択繰り返しのプログラム構造を理解するとともに、Java Swingを使ったGUIアプリケーション開発が自力で作成出来るようになることを目標とする。				
授業概要	Java言語を用いプログラミングを学習する。 テキストエディタを使った初歩的なプログラミングから始め、Eclipseと呼ばれる開発ツールを使ったJavaプログラムの開発演習を通し、プログラミングの基礎について学ぶ。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	プログラミング開発環境の設定	19	文字列操作
	2	画面出力	20	日付操作
	3	データの入力と変数への保存	21	ListとMapによるデータの保存
	4	分岐制御	22	データの操作に関する復習
	5	繰り返し制御	23	MySQLとの接続
	6	配列操作	24	データの抽出処理
	7	論理演算	25	データの追加更新削除
	8	基礎制御に関する復習	26	ファイルへの入出力
	9	GUIアプリケーションの画面作成	27	JSONファイルの編集
	10	クリック処理	28	データの保存に関する復習
	11	画像や装飾の設定	29	マルチスレッド処理
	12	別画面への遷移	30	TCP通信処理
	13	アニメーション処理	31	RESTful APIの使用
	14	一覧表示	32	通信処理に関する復習
	15	描画処理	33	GUIアプリケーション開発その2(1/4)
	16	GUIアプリケーションに関する復習	34	GUIアプリケーション開発その2(2/4)
	17	GUIアプリケーション開発その1(1/2)	35	GUIアプリケーション開発その2(3/4)
	18	GUIアプリケーション開発その1(2/2)	36	GUIアプリケーション開発その2(4/4)

成績割合				
	テスト	60%	学習FB方法	各自の演習状況やテストの結果から理解度をフィードバックする。
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	30%	成績評価	出席率10点 試験60点 成果物評価30点 計100点
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40　R≪実働実践型学習≫20　A≪主体的参加型学習≫30　G≪海外体感型学習≫10
講師プロフィール	官公庁系システム開発に携わったのち、小学生向けのプログラミングスクールにて講師を務めた。 プログラミングスクールでは、教材作成から講師の研修まで携わり、幅広い年齢に対しプログラミングを教えてきた。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	アルゴリズム		担 当 者 名	矢島 徳章	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	整列・検索など様々なアルゴリズム理解を目的する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プログラム作成における基本的な考え方であるアルゴリズムと、それを図式で表現するJISフローチャートの記述方法、国家試験で出題される疑似言語の記述方法の学習を目標とする。				
授業概要	コンピュータプログラムの設計・作成に欠かせない計算手順を習得する科目であり、アルゴリズムの基本である順次・選択・反復の理解から、探索処理、整列処理などおよび、データ構造とアルゴリズムの関係を学習する。基本情報処理試験で出題される疑似言語もこの科目で習得する。また、動作確認の上でJava言語を利用しアルゴリズムの検証もおこなう。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	流れ図の基本パターン	19	探索処理 線形探索
	2	繰返し処理①	20	探索処理 ブロック探索
	3	繰返し処理②	21	探索処理 二分探索
	4	繰返し処理③	22	探索処理 ハッシュ探索
	5	繰返し処理④	23	整列処理 基本選択法
	6	配列操作 一次元配列	24	整列処理 基本交換法
	7	配列操作 二次元配列	25	整列処理 基本挿入法
	8	疑似言語	26	整列処理 応用的な整列①
	9	疑似言語	27	整列処理 応用的な整列②
	10	疑似言語	28	整列処理 応用的な整列③
	11	疑似言語の基本パターン	29	文字列操作①
	12	疑似言語の基本パターン	30	文字列操作②
	13	疑似言語の基本パターン	31	文字列操作③
	14	疑似言語の基本パターン	32	ビット操作①
	15	前期講座の総復習	33	ビット操作②
	16	データ構造①	34	ファイル処理①
	17	データ構造②	35	ファイル処理②
	18	データ構造③	36	後期期講座の総復習

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20 R≪実働実践型学習≫0 A≪主体的参加型学習≫75 G≪海外体感型学習≫5			
講師プロフィール	高等教育機関で30年以上の経験及び、社旗人教育2年以上の経歴をもつ。また、学内業務システム作成の経歴を持つ。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	SQL実習		担 当 者 名	池田 真太郎	
学 科	情報システム科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	SQLと呼ばれる言語を用いたDBの管理や操作方法について学び、基本的なデータの抽出やデータの追加更新削除などの管理方法について理解することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	SQLにおける基本的な抽出命令(SELECT文)やDB内のデータの管理方法を理解することを目標とする。				
授業概要	MySQLと呼ばれるDBMSとコマンドプロンプトを使い、SELECT文やINSERT文といった基本的なSQLの使い方を演習を通し学んでいく。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	DBとはSQLとは解説	19	項目で使うサブクエリ
	2	全件抽出(SELECT)	20	条件で使うサブクエリ
	3	射影とDISTINCT	21	抽出元に使うサブクエリ
	4	選択(WHERE)	22	内部結合(INNER JOIN)
	5	複合条件(ANDとOR)	23	外部結合(OUTER JOIN)
	6	条件指定(IN、BETWEEN、NOT)	24	テーブル設計と正規化(1/3)
	7	曖昧検索(LIKE)	25	テーブル設計と正規化(2/3)
	8	演算と別名(AS)	26	テーブル設計と正規化(3/3)
	9	並び替え(ORDER BY)	27	テーブル設計演習(1/3)
	10	自然結合(NATURAL JOIN)	28	テーブル設計演習(2/3)
	11	集合関数とグループ化(GROUP BY)	29	テーブル設計演習(3/3)
	12	集計値の条件抽出(HAVING)	30	確認問題(1/6)
	13	追加更新削除	31	確認問題(2/6)
	14	DBとテーブルの追加と削除	32	確認問題(3/6)
	15	確認問題(1/4)	33	確認問題(4/6)
	16	確認問題(2/4)	34	確認問題(5/6)
	17	確認問題(3/4)	35	確認問題(6/6)
	18	確認問題(4/4)	36	1年間の総まとめ

成績割合	テスト	90%	学習FB方法	各自の演習状況やテストの結果から理解度をフィードバックする。
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	%	成績評価	出席率10点 試験90点 計100点
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50　R≪実働実践型学習≫20　A≪主体的参加型学習≫20　G≪海外体感型学習≫10			
講師プロフィール	官公庁系システム開発に携わったのち、小学生向けのプログラミングスクールにて講師を務めた。 プログラミングスクールでは、教材作成から講師の研修まで携わり、幅広い年齢に対しプログラミングを教えてきた。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般教養		担 当 者 名	伊藤 健生	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	就職活動の採用試験として実施されることが多いSPI試験の言語・非言語部分に関して学習する。 コースによっては1年次の終わりからスタートする就職活動に向けての準備と就活への意識付けを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	就職活動の採用試験として実施されることが多いSPI試験の言語・非言語部分に関して学習する。 コースによっては1年次の終わりからスタートする就職活動に向けての準備と就活への意識付けを目的とする。				
授業概要	テキストは「高橋書店 イッキに内定 SPI スピード解法 一問一答」を使用。 この科目は就職活動準備のための科目である。授業内で学ぶ解法のコツを踏まえて自主的な学習をしなければ、就職活動の準備になるとは言えない。よって、授業外での自主勉強が必要となることを理解し、1年間をかけて社会人に必要な教養を身に付ける必要性を啓発するものである。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	科目ガイダンス(目的・授業内容)	19	二語の関係(復習)濃度
	2	二語の関係 その1割合	20	熟語(復習)推論(論理)
	3	二語の関係 その2損益算	21	語句の用法(復習)推論(人口密度)
	4	二語の関係 その3料金の割引	22	長文解読(復習)推論(濃度)
	5	熟語 その1代金の精算	23	長文解読(復習)推論(増加率)
	6	熟語 その2分割払い	24	業界研究 および プリント復習1推論(順序関係)
	7	熟語 その3速さ	25	業界研究 および プリント復習2推論(位置関係)
	8	語句の用法 その1出会い算	26	面接練習 および プリント復習1推論(数量)
	9	語句の用法 その2通過算	27	面接練習 および プリント復習2資料の読み取り
	10	語句の用法 その3流水算	28	面接練習 および プリント復習3推理
	11	長文解読 設問を先に読む周回算	29	面接練習 および プリント復習4物の流れと比率
	12	長文解読 冒頭文をチェックする時刻表	30	面接練習 および プリント復習5ブラックボックス
	13	長文解読 筆者の言いたいことを探す集合	31	まとめ(言語分野) その1グラフの領域
	14	長文解読 文章をシンプル化する場合の数	32	まとめ(言語分野) その2条件と領域
	15	長文解読 解答練習1確率	33	まとめ(言語分野) その3料金表
	16	長文解読 解答練習2仕事算	34	まとめ(言語分野) その4長文読み取り
	17	前期期末試験前期期末試験	35	後期期末試験後期期末試験
	18	前期期末試験の解答解説及び総評前期期末試験の解答解説及び総評	36	後期期末試験の解答解説及び総評後期期末試験の解答解説及び総評

成績割合			学習FB方法	
	テスト	50%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	20%	成績評価	〃成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定する 評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40 R≪実働実践型学習≫10 A≪主体的参加型学習≫40 G≪海外体感型学習≫10
講師プロフィール	〃講義形式を主とし、問題演習も積極的に行なう。また、就職試験の情報についても提供する。 担当教員:学習塾において、主要5科目の講義を担当し、その後、資格スクールで公務員試験対策の数的処理や、就職試験SPIの講義を担当。また、SPI試験対策の参考書(8冊)や公務員試験の数的処理の参考書(1冊)を執筆しており、某企業の就職試験用に学科試験と性格適性テストを作成して提供している。〃

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	英語1		担 当 者 名	鈴木 眞二	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	この科目は社会人に必要な教養を身につける必要性を啓発するものである。今までの英語学習経験において苦手意識を持っている者も、改めて英語というコミュニケーションツールの学習に取り組み、英語が今後の人生を豊かに過ごす一つの手段と気づかせる。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	プログラミング作成や、インターネットを使った情報検索など、この業界で仕事をするうえで避けては通れない「英語」に慣れ親しみ、苦手意識を克服し、社会人として恥ずかしくないレベルの英語を身につける。				
授業概要	テキスト「OXFORD Smart CHOICE 1」を使用。 読む、書く、聞く、話す、の4技能をバランスよく学びます。義務教育では重要視されなかった、聞く、話す、を繰り返し、積極的にコミュニケーションをとるための簡単な英会話を学び、英語に興味を持ち、自主的に英語を学ぶ気持ちを養います。英会話に必要な表現を、クイズ形式での聞き取りや、ペアワークでの発表など、生徒参加型の形式で習得する。楽しみながらコミュニケーション能力を高めることができるような授業を展開する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	Nice to meet you	19	Is there a coffee shop?
	2	Nice to meet you.	20	Is there a coffee shop?
	3	What do you do?	21	I had a good time.
	4	What do you do?	22	I had a good time.
	5	Do you like noodles?	23	I'm going to go by car
	6	Do you like noodles?	24	I'm going to go by car.
	7	How often do you excise?	25	テスト リスニング対策
	8	How often do you excise?	26	テスト リスニング対策
	9	I'm listening music.	27	テスト リスニング対策
	10	I'm listening music.	28	筆記テスト対策
	11	Where were you yesterday?	29	筆記テスト対策
	12	Where were you yesterday?	30	筆記テスト対策
	13	Which one is cheaper?	31	英会話テスト
	14	Which one is cheaper?	32	英会話テスト
	15	They're very friendly.	33	英会話テスト
	16	They're very friendly.	34	テスト解説
	17	You can visit the zoo.	35	まとめ
	18	You can visit the zoo.	36	総評

成績割合				
	テスト	25%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	25%	成績評価	評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%
講師プロフィール	海外留学、通訳案内、国連での業務経験を持つ。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	ビジネスマナー		担 当 者 名	堀切 昌美	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	社会人として身につけるべきマナーを学び、就職活動に活かす。仕事の仕組み、組織人としての意識を高める。資格試験対策を実施し合格に繋げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	専修学校教育振興会主催『ビジネス能力検定(ジョブパス)』3級・2級の合格を目指す。				
授業概要	テキスト『実教 要点と演習 ビジネス能力検定 3級2023年度』『実教 要点と演習 ビジネス能力検定2級 2023年度』を使用する。自分の知らないルールやマナーを学び、社会人と同じ立ち居振る舞いができるよう実践する。 単に資格取得を目標とするだけでなく、本当のビジネスマナーを学ぶ意識を持つことが必要である。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	科目設定の目的・授業進行・資格試験内容説明	19	お客様第一主義
	2	自身のキャリアデザインを考える。働き方の多様化と現状を知る	20	肯定表現・敬語・クレーム対応
	3	組織人としての8つの意識	21	接客・営業の進め方 会議運営
	4	報告・連絡・相談のポイントと注意	22	チームワーク 2級ケースの問題対応
	5	議事録の意義、会議の進め方	23	2級対策時事用語・IT時代の仕事の進め方
	6	来客対応・訪問マナー	24	ロジックツリー・マトリクス・MECE 論理的思考と分析について
	7	過去問に沿って、ここまでの復習	25	データの読み方・まとめ方、企画書とその他の文書
	8	資格試験直前対策 ビジネス用語確認	26	日本の経済変化、為替、時事用語
	9	ビジョンとドメイン、コンプライアンス、CSRについて	27	契約、社則、労働基準法、労働者の権利
	10	働き方の変化、DX	28	2級合格を踏まえての過去問抜粋
	11	社内文書と社外文書の基本	29	会社数字の読み方
	12	情報収集の方法と活かし方	30	自身の強みと活かし方、社会への貢献
	13	3C分析とSWOT分析	31	履歴書の書き方・作成
	14	株式会社について 売り上げ・粗利	32	エントリーシートの書き方、採用者の視点・作成
	15	給料明細の見方・様々な社会保険	33	自己紹介のしかた(面接を踏まえて)、自己紹介文の作成
	16	キャリアとは何か、自分なりに考える。キャリアアンカーの見極め	34	総まとめ
	17	基礎・常識問題、新聞記事、ケースの問題、資料解釈	35	総評・働くということ
	18	試験の総評と、3級合格を目指しての総まとめ、過去問対策	36	面接対策

成績割合			学習FB方法	
	テスト	70		随時小テストを実施する。過去問の理解が十分でない場合、個別対応を行う。
	学習態度・出席率	15		
	レポート	15	成績評価	100-90点がS, 89-80点がA, 79-70点がB, 69-60点がC, 59点以下は不合格とする。 受検した資格試験結
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て、民間企業に転身。営業部配属中に月間一千万円を売り上げ、女性マネージャに昇格。フランス・ルーブル美術館で行われたキモノショーの裏方経験をする。その後、企画部人事部の仕事に携わるうち、自身の培った何らかを若い世代に伝え、貢献したいとの思いから教育界に復帰。現在は、大学・専門学校・通信制高校においても教鞭をとり、企業業務委託講師としても活躍中。当校では、15年以上指導に当たっている。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	基礎ゼミ		担 当 者 名	池田 真太郎	
学 科	情報システム科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	現代のIT事情と社会に潜在する課題を再考し、IT技術を駆使した課題解決方法を見出すとともに、他者との協力方法やコミュニケーション能力を養う事を目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グループ演習を通し、実社会に潜在する課題を改めて認識するとともに他者との共同開発や演習を成功させ、IT技術を駆使した具体的な課題解決方法を見出せるようになることを目標とする。				
授業概要	ITと社会の関りをテーマにグループディスカッションを行うとともに、社会に潜在する課題解決を目的としたシステム開発とその成果物の発表を行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	グループディスカッション(1/5)	19	前期プロジェクトの反省
	2	グループディスカッション(2/5)	20	新規プロジェクトの立案
	3	グループディスカッション(3/5)	21	プロジェクトの計画
	4	グループディスカッション(4/5)	22	技術調査と勉強(1/2)
	5	グループディスカッション(5/5)	23	技術調査と勉強(2/2)
	6	システム開発プロジェクトの立案	24	システム開発(1/7)
	7	プロジェクトの計画	25	システム開発(2/7)
	8	技術調査と勉強(1/2)	26	システム開発(3/7)
	9	技術調査と勉強(2/2)	27	システム開発(4/7)
	10	システム開発(1/5)	28	システム開発(5/7)
	11	システム開発(2/5)	29	システム開発(6/7)
	12	システム開発(3/5)	30	システム開発(7/7)
	13	システム開発(4/5)	31	動作テスト
	14	システム開発(5/5)	32	発表内容の検討
	15	動作テスト	33	スライド資料の作成
	16	発表内容の検討とスライド資料の作成	34	最終調整
	17	最終調整	35	発表
	18	発表	36	振り返り

成績割合				
	テスト	%	学習FB方法	日報や進捗確認の結果から各々の取組み方に関するフィードバックをする。
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	70%	成績評価	出席率10点 発表評価30点 成果物評価60点 計100点
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40%　R≪実働実践型学習≫10%　A≪主体的参加型学習≫40%　G≪海外体感型学習≫10%
講師プロフィール	官公庁系システム開発に携わったのち、小学生向けのプログラミングスクールにて講師を務めた。 プログラミングスクールでは、教材作成から講師の研修まで携わり、幅広い年齢に対しプログラミングを教えてきた。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	データベースソフト実習		担 当 者 名	水野 良太	
学 科	情報システム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	データベースソフトのひとつであるAccessを習得し、ビジネスシーンで簡易的に利用するデータベース構築時術を身に着ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネスの現場で使われることの多いMicrosoft社製アプリケーションの1つAccess。その学習を通し最終的にはオリジナルのデータベースシステムの作成を目指す。 また、マイクロソフト オフィス スペシャリスト(通称MOS)の取得を目指す。				
授業概要	「FOM出版 よくわかるMicrosoftAccess2019基礎」 「FOM出版 よくわかるMicrosoftAccess2019応用」 「FOM出版 MOS Access 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集」を使用。 IT業界だけではなく様々な業界で使われるデータベースソフトの操作について理解を深め、オリジナルデータベースシステムの作成を目指す。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	授業ガイダンス	19	Access2023応用
	2	Access 2019 基礎	20	Access2023応用
	3	Access 2019 基礎	21	Access 2023 練習問題
	4	Access 2019 基礎	22	Access 2023 練習問題
	5	Access 2019 基礎	23	Access 2023 練習問題
	6	Access 2019 基礎	24	Access 2023 練習問題
	7	Access 2019 応用	25	Access 2023 練習問題
	8	Access 2019 応用	26	Access 2023 練習問題
	9	Access 2019 応用	27	MOS Access 365&2023 Expert対策
	10	Access 2019 応用	28	MOS Access 365&2023 Expert対策
	11	Access 2019 応用	29	MOS Access 365&2023 Expert対策
	12	Access 2019 応用	30	MOS Access 365&2023 Expert対策
	13	Access 2019 応用	31	MOS Access 365&2023 Expert対策
	14	Access 2019 応用	32	MOS Access 365&2023 Expert対策
	15	Access 2019 応用	33	後期試験前まとめ
	16	前期試験前まとめ	34	後期試験実施
	17	前期試験実施	35	後期試験解説
	18	前期試験解説	36	総まとめ

成績割合	テスト	40%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	40%	成績評価	試験・提出物・出欠席を考慮して総合的に評価。 S90点以上 A80～89点 B70～79点 C60～69点 それ未満は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10 R≪実働実践型学習≫40 A≪主体的参加型学習≫40 G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	都内私立高等学校での生徒指導や社会人研修の経験があり、またVBAやPythonを用いた業務改善ツールの作成をしている。当年では他にアプリケーションの講義・VBAの授業を担当している。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	ITリテラシー2		担 当 者 名	青島 由美子	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	国家試験「基本情報技術者」の合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国家試験「基本情報技術者」の合格を目指すため、基本情報の過去問を使用しながら理解度を深めるとともに、ネットラーニング社から提供されているe-Learning教材「基本情報対策」を受講し、基本情報技術者試験の合格を目標とする。				
授業概要	就活において大きな武器となる国家試験「基本情報技術者」合格のための知識を習得する。 授業内で行うもののほかに反復学習としてe-Learningを使った学習を行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	科目ガイダンス	19	基本情報技術者試験　科目B対策　情報セキュリティ
	2	基本情報過去問重点学習（ハードウェア）	20	基本情報技術者試験対策　科目B対策　ハードウェア
	3	基本情報過去問重点学習（情報処理システム）	21	基本情報技術者試験対策　科目B対策　ソフトウェア
	4	基本情報過去問重点学習（ソフトウェア）	22	基本情報技術者試験対策　科目B対策　データベース
	5	基本情報過去問重点学習（データベース）	23	基本情報技術者試験対策　科目B対策　ネットワーク
	6	基本情報過去問重点学習（ネットワーク）	24	基本情報技術者試験対策　科目B対策　ソフトウェア設計
	7	基本情報過去問重点学習（セキュリティ）	25	基本情報技術者試験対策　科目B対策　プロジェクトマネジメント
	8	基本情報過去問重点学習（アルゴリズムとデータ構造）	26	基本情報技術者試験対策　科目B対策　サービスマネジメント
	9	基本情報過去問重点学習（企業と法務）	27	基本情報技術者試験対策　科目B対策　システム戦略
	10	基本情報過去問重点学習（経営戦略）	28	基本情報技術者試験対策　科目B対策　経営戦略・企業と法務/経営
	11	基本情報過去問重点学習（情報システム戦略）	29	基本情報技術者試験対策　科目B対策　データ構造とアルゴリズム
	12	基本情報過去問重点学習（開発技術）	30	基本情報技術者試験対策　科目B対策　データ構造とアルゴリズム（1）
	13	基本情報過去問重点学習（プロジェクトマネージメント）	31	基本情報技術者試験対策　科目B対策　データ構造とアルゴリズム（2）
	14	基本情報過去問重点学習（システム監査と内部統制造）	32	総合学習（1）
	15	基本情報技術者試験　科目A対策（1）	33	総合学習（2）
	16	基本情報技術者試験　科目A対策（2）	34	総合学習（3）
	17	前期期末試験	35	後期期末試験
	18	前期期末試験の解答解説及び総評	36	後期期末試験の解答解説及び総評

成績割合				
	テスト	70%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	20%	成績評価	成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定する。また、受験した資格試験結果も成績に加味する
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	通信制御のシステム開発を経験後、大手情報系企業のネットワークSE向け教育プロジェクト一員にトレーナーとして配属され、情報の普及、教育トレーナー養成の業務に従事。その間、2度のAward Trainerの栄誉を受賞。多数の情報系有資格者。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	プログラミング2		担 当 者 名	矢島 徳章、吉田 柊羽	
学 科	情報システム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	216時間
授業目的	プログラミング言語JavaによるWebシステムの理解と開発を学習する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Java技術であるJSP/Servletの技術を学習し、ショッピングサイトの仕組みを理解して、オリジナルのショッピングサイトを制作する技術修得を目標とする。				
授業概要	1年次履修しているHTMLおよびSQLを理解していること。およびプログラミングのにおいてJava言語を理解し、なおかつJava言語でデータベースの簡単な操作ができることを前提として授業が行われる。また、Webシステム(ショッピングサイト)作成において、システムのデザインに関する知識をシステム設計にて補間する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	Java文法の復習	19	JSP パラメータによる出力変更、DBアクセス
	2	クラス・インターフェース・スレッド	20	BeanとJSPのアクションタグ、Beanのスコープ
	3	サーブレット レスポンス出力	21	MVCモデル データチェック・マスタ検索
	4	サーブレット パラメータ受信	22	MVCモデル 接続プールによるDBアクセス
	5	サーブレット DBアクセス	23	MVCモデルによるマスタメンテナンス
	6	サーブレット DBマスター覧	24	MVCモデルとスクリプトの利用
	7	サーブレット DB条件検索1	25	MVCモデルとスクリプトの利用
	8	サーブレット DB条件検索2	26	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	9	前期中間試験の解答解説及び総評	27	MVCモデルのまとめ
	10	サーブレット セッション	28	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	11	サーブレット セッションを利用した一覧のページ分割	29	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	12	サーブレット マスタ追加	30	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	13	サーブレット マスタ変更	31	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	14	サーブレット トランザクション処理1	32	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	15	サーブレット トランザクション処理2	33	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	16	サーブレット トランザクション処理3	34	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	17	前期期末試験の解答解説・総評及び復習	35	オリジナルシステム作成(ショッピングサイト制作)
	18	JSP ディレクティブ、式、宣言、スクリプトレットタグ	36	作品発表及び振り返り

成績割合			学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	テスト	45%		
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	45%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫5% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫5%
講師プロフィール	高等教育機関で30年以上の経歴と、社会人教育2年以上の経歴および、学内業務システム作成の経歴を持つ。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	Linux実習		担 当 者 名	水野 良太、吉田 柊羽	
学 科	情報システム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	コンピュータ技術に必要不可欠となったネットワークの知識や技術を深く掘り下げ、実習を交えながらネットワーク技術を修得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インターネットの標準プロトコルであるTCP/IPに関する知識を中心にネットワークの仕組みを学習する				
授業概要	コンピュータ技術に必要不可欠となったネットワークの知識や技術を深く掘り下げ、実習を交えながらネットワーク技術を修得する。特にインターネットの標準プロトコルであるTCP/IPに関する知識を中心にネットワークの仕組みを学習する				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	ネットワークについて	19	速度の求め方 その6
	2	ネットワークの概念	20	ドメインについて その1
	3	ネットワークで用いる単位について	21	ドメインについて その2
	4	基数変換について	22	ドメインについて その3
	5	IPアドレスについて	23	ドメインについて その4
	6	IPアドレスの計算方法 その1	24	ポートについて その1
	7	IPアドレスの計算方法 その2	25	ポートについて その2
	8	IPアドレスの計算方法 その3	26	ポートについて その3
	9	IPアドレスの計算方法 その4	27	ポートについて その4
	10	IPアドレスの計算方法 その5	28	Wireshark の使い方 その1
	11	IPアドレスの計算方法 その6	29	Wireshark の使い方 その2
	12	IPアドレスの計算方法 その7	30	3 Way Hand shake その1
	13	IPアドレスの計算方法 その8	31	3 Way Hand shake その2
	14	速度の求め方 その1	32	ルーティングの基礎
	15	速度の求め方 その2	33	スタティックルーティング
	16	速度の求め方 その3	34	ルータの取り扱い及びネットワーク構築の基礎 その1
	17	速度の求め方 その4	35	ルータの取り扱い及びネットワーク構築の基礎 その2
	18	速度の求め方 その5	36	後期期末試験の解答解説及び総評

成績割合				
	テスト	50%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	20%	成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	授業は、最新の技術を取り入れ就職してもすぐに役立つ内容を基礎として教えています。 担当教員は、内閣情報セキュリティセンタ(NISC)のコラムにも記事が掲載されるほどのエンジニアで、国内外の字セキュリティ情報を常に追いかけ、その情報を授業に反映します。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	セキュリティ概論		担 当 者 名	水野 良太、吉田 柊羽	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	ネットワーク実習で構築したLinuxサーバを活用して、ネットワークで使用されるセキュリティ技術を実習を通して体験する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″テキスト「SBクリエイティブ　動かして学ぶセキュリティ入門講座」を使用。 テキストを使った様々な脆弱性や脅威の知識を学びながら、ネットワーク実習と連動して授業を進め、ネットワーク実習で構築したサーバのセキュア設定を組み込んでいく。″				
授業概要	″テキスト「SBクリエイティブ　動かして学ぶセキュリティ入門講座」を使用。 テキストを使った様々な脆弱性や脅威の知識を学びながら、ネットワーク実習と連動して授業を進め、ネットワーク実習で構築したサーバのセキュア設定を組み込んでいく。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	セキュリティの基礎	19	前期　総復習
	2	GMITS を用いたセキュリティ概念 その1	20	プライバシーポリシー　その1
	3	GMITS を用いたセキュリティ概念 その2	21	プライバシーポリシー　その2
	4	GMITS を用いたセキュリティ概念 その3	22	プライバシーポリシー　その3
	5	PDCA サイクル　その1	23	プライバシーポリシー　その4
	6	PDCA サイクル　その2	24	プライバシーポリシー　その5
	7	PDCA サイクル　その3	25	ISMS　その1
	8	PDCA サイクル　その4	26	ISMS　その2
	9	CIA　その1	27	PGP を用いた暗号化メール　その1
	10	CIA　その2	28	PGP を用いた暗号化メール　その2
	11	CIA　その3	29	PGP を用いた暗号化メール　その3
	12	CIA　その4	30	iptable　その1
	13	個人情報保護法　その1	31	iptable　その2
	14	個人情報保護法　その2	32	iptable　その3
	15	個人情報保護法　その3	33	iptable　その4
	16	個人情報保護法　その4	34	iptable　その5
	17	前期期末試験対策	35	後期期末試験対策
	18	前期期末試験の解答解説及び総評	36	後期期末試験の解答解説及び総評

成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期　成績表送付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	10%	成績評価	″出席率80%以上 S90～100点　A80～89　B70～79点　C60～69点　D59点以下は不合格″
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫15　R≪実働実践型学習≫5　A≪主体的参加型学習≫70　G≪海外体感型学習≫10			
講師プロフィール	″授業は、最新の技術を取り入れ就職してもすぐに役立つ内容を基礎として教えています。 担当教員は、内閣情報セキュリティセンタ(NISC)のコラムにも記事が掲載されるほどのエンジニアで、国内外の字セキュリティ情報を常に追いかけ、その情報を授業に反映します。″			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	応用ゼミ		担 当 者 名	尾島 泰弘、吉田 柊羽、矢島 徳章、 芦沢 侑紀、福田 真綾	
学 科	情報システム科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	PBLによる学生の主体的なグループ学習				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	円滑なコミュニケーション能力の育成とグループマネジメント能力やグループ内での役割認知力を鍛える				
授業概要	テーマに沿ったWebシステムの企画・立案・スケジュール作成および管理から実際のシステム作成およびテストまで提示された期間に遂行し、その過程と成果物についてのプレゼンテーションを行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	システム開発テーマ確認
	2	開発プラットフォーム操作演習①	20	システム設計①
	3	Mendix操作演習①	21	システム設計②
	4	Mendix操作演習②	22	システム設計③
	5	Mendix操作演習③	23	システム設計④
	6	Mendix操作演習④	24	システム設計⑤
	7	Mendix操作演習⑤	25	システム制作①
	8	Mendix操作演習⑥	26	システム制作②
	9	Mendix操作演習⑦	27	システム制作③
	10	Mendix操作演習⑧	28	システム制作④
	11	Mendix操作演習⑨	29	システム制作⑤
	12	Mendix操作演習⑩	30	システム制作⑥
	13	グループワーク①	31	発表準備①
	14	グループワーク②	32	発表準備②
	15	グループワーク③	33	リハーサル
	16	グループワーク④	34	最終発表
	17	ローコード開発中間発表	35	後期振り返り
	18	前期振り返り	36	総評

成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20 R≪実働実践型学習≫40 A≪主体的参加型学習≫20 G≪海外体感型学習≫20			
講師プロフィール	高等教育機関で30年以上の経歴と、夜会人教育2年以上の経歴および、学内業務システム作成の経歴を持つ。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	プレゼンテーション		担 当 者 名	堀切 昌美	
学 科	情報システム科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	自分が言いたい意見をわかりやすく伝えることや、アイディアを提案する力など、社会において求められることは多い。授業において、他者に説得力をもって話す力、スキルや態度をプレゼンを通して培っていく。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	・話したいことについての話す順序・構成の仕方を学ぶ ・情報収集と、取捨選択をして、考える力を高める ・問題意識を持って調べたり、他者と議論することができる。 ・他者の意見を聞き、自分の考えを深め、説明することができる				
授業概要	個人ワークを中心に、3分プレゼン・5分プレゼン・7分プレゼンに挑戦する。 発表後はコメントして適宜フィードバックを行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	授業の目的、進め方、スピーチとプレゼンの違い	19	データを活用したプレゼン　資料活用　スライド作成
	2	言いたいことを100字にまとめるワーク	20	スライド作成
	3	構成の仕方　訴求ポイント	21	何を言いたくて比較したのか、強調して話そう！
	4	おススメプレゼン　テーマ決め　概要と時間配分	22	何を言いたくて比較したのか、強調して話そう！
	5	おススメプレゼン　構成（テーマを選んだ理由・伝える内容の整理）	23	自由テーマ　1年生へのプレゼントとなるテーマ決め
	6	プレゼン用パワポ資料の作成	24	スライド作成
	7	資料作成　書体の基本、見やすいフォント　段組みなど	25	スライド作成
	8	シナリオ作成　話し方のポイント	26	スライド作成
	9	一人ずつ　3分プレゼン	27	最終リハーサル
	10	3分プレゼン　講評・自己評価	28	7分プレゼン発表
	11	わかりやすい説明とは　第2回テーマ決め	29	社会問題から、テーマの絞り込み　資料・文献から情報収集
	12	スライド作成	30	テーマに対する動向と課題の把握
	13	スライド作成	31	グループでの議論をもとに最終プレゼン
	14	スライド作成	32	グループでの議論をもとに最終プレゼン　スライド作成
	15	ひとり5分の発表	33	グループでの議論をもとに最終プレゼン　スライド作成
	16	ひとり5分　の発表	34	プレゼン発表
	17	ひとり5分　の発表　　次回のテーマ告知・テーマ決め	35	プレゼン発表
	18	データを活用したプレゼン　資料集め	36	まとめとふりかえり

成績割合			学習FB方法	
	テスト			評価シート返却やTeamsの課題提出時に、個別にアドバイスを行う。授業内での対応も個人の考えを尊重しながらともに創り上げていく。
	学習態度・出席率			
	レポート		成績評価	総合的に判断し、S（100点―90点）、A（89点―80点）、B（79点ー70点）、C（69点ー60点）、59点以下は単位不可。
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫40%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	私立高校国語教諭、公立小学校、特殊教育、日本語教師を経て、民間企業に転身。営業部配属中に月間一千万円を売り上げ、女性マネージャに昇格。フランス・ルーブル美術館で行われたキモノショーの裏方経験をする。その後、企画部、人事部と渡り歩き新人研修・中途採用研修の仕事に携わるうち、自身の培った何らかを若い世代に伝え、貢献したいとの思いから教育界に復帰。現在は、大学・専門学校・通信制高校においても教鞭をとる。企業業務委託講師としても活躍中。当校では、15年以上指導に当たっている。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	英語2		担 当 者 名	鈴木 眞二	
学 科	情報システム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	この教科は社会人に必要な教養を身につける必要性を啓発するものである。急激に進展するグローバル化の中、IT業界においても英語の語学力はますます重要視されています。このクラスでは今までの英語学習経験において苦手意識を持っている者にも、改めて英語をコミュニケーションツールとして学習することにより、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる英語の技能を養うことを目的としています。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″プログラミング作成や、インターネットを使った情報検索など、この業界で仕事をするうえで避けては通れない「英語」に慣れ親しみ、苦手意識を克服し、社会人としての恥ずかしくないレベルの英語を身に付ける必要があると気づく。 英語に興味を持ち、自主的に英語を学ぶ気持ちを養う。　基礎文法、基礎単語の習得。使える英語へと発展させる。″				
授業概要	″テキスト「Smart CHOICE 2 Student Book」を使用。 1年で培った基礎力を土台として、さらにテキストに沿い4技能(聞く、話す、読む、書く) をバランスよく学びます。 講義型だけではなく、クイズ形式の聞き取りや、ロールプレイ、グループワークなど、生徒参加型で授業を進めていきます。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	″Unit 7. There are too many stores! Listening, Grammar″
	2	1年復習	20	″Unit 7. There are too many stores! Reading, Grammar″
	3	″Unit 1. How was your vacation? Listening, Grammar″	21	″Unit 8.　Wanted: People who can sing Listening, Grammar″
	4	″Unit 1. How was your vacation? Reading, Speaking″	22	″Unit 8.　Wanted: People who can sing Reading, Speaking″
	5	″Unit 2. I think it's boring Listening, Grammar″	23	″Unit 9. What were you doing? Listening, Grammar″
	6	″Unit 2. I think it's boring Reading, Speaking″	24	″Unit 9. What were you doing? Reading, Speaking″
	7	″Unit 3. Do it before you're 30 Listening, Grammar″	25	″Bonus Let's watch the video″
	8	″Unit 3. Do it before you're 30 Reading, Speaking″	26	″Unit 10 I used to sing Listening, Grammar″
	9	″Bonus Let' watch the video″	27	″Unit. 10 I used to sing Reading, Speaking″
	10	″Unit 4. The best place in the world Listening, Grammar″	28	″Unit 11. You'll save money if … Listening, Grammar″
	11	″Unit 4. The best place in the world Reading, Speaking″	29	″Unit 11 You'll save money if … Reading, Speaking″
	12	″Unit 5. Where's the party? Listening, Grammar″	30	″Unit 12.　You could be a lifeguard Listening, Grammar″
	13	″Unit 5. Where's the party? Reading, Speaking″	31	″Unit 12. You could be a lifeguard Reading, Speaking″
	14	″Unit 6. You should try it! Listening, Grammar″	32	Unit 7. ~ Unit 12 まとめ
	15	″Unit 6. You should try it! Reading, Speakiing″	33	後期期末テストと解説
	16	Unit 1. ~ Unit 6. まとめ	34	Business English1
	17	前期期末テスト	35	″Bonus Let's watch the video″
	18	″Bonus Let's watch the video″	36	Business English2

成績割合			学習FB方法	
	テスト	25%		
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	25%	成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70　R≪実働実践型学習≫40　A≪主体的参加型学習≫70　G≪海外体感型学習≫40
講師プロフィール	カナダ留学、大手英会話学校、国連機関での勤務経験あり 現通訳案内士、英語コーチ

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	ドローンプログラミングⅡ		担 当 者 名	鎌倉 規匠	
学 科	情報システム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	Society 5.0で代表的な技術の一つであるドローンを題材に、ブロックプログラミングなどを行い、ドローン操作を理解する。ドローンに関するルールを確認する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ドローン利用の現状からドローンを題材にしたブロックプログラミングをはじめとするドローン操作を習得し、Society 5.0の一端を理解する。また、ドローン検定3級合格を目指す。				
授業概要	ドローンの利用や製薬などの理解を踏まえ、室内用のドローンを利用し、基本操作から、様々なミッションを行うとともに、ドローン検定4級・3級レベルまでの知識を身に着ける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	前期ガイダンス①	19	後期ガイダンス①
	2	前期ガイダンス②	20	後期ガイダンス②
	3	前期ガイダンス③	21	後期ガイダンス③
	4	ブロックプログラミング①	22	ドローン検定対策①
	5	ブロックプログラミング②	23	ドローン検定対策②
	6	ブロックプログラミング③	24	ドローン検定対策③
	7	ドローン基本操作①	25	ドローン検定対策④
	8	ドローン基本操作②	26	ドローン検定対策⑤
	9	ドローン基本操作③	27	ドローン検定対策⑥
	10	ドローンによる簡易ミッション①	28	ドローン検定対策⑦
	11	ドローンによる簡易ミッション②	29	ドローン応用操作①
	12	ドローンによる簡易ミッション③	30	ドローン応用操作②
	13	ドローンによる簡易ミッション④	31	
	14	ドローンによる簡易ミッション⑤	32	
	15	ドローンによる簡易ミッション⑥	33	
	16	ドローンによる簡易ミッション⑦	34	
	17	ドローンによる簡易ミッション⑧	35	
	18	前期総評	36	

成績割合			学習FB方法	成績表送付
	テスト	40%		
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～99点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20　R≪実働実践型学習≫30　A≪主体的参加型学習≫30　G≪海外体感型学習≫20
講師プロフィール	海外音楽大学卒業　プロのミュージシャンの傍らコンピューター技術をイベント観点から学び幅広く仕事として活用。その経験を活かし工学院・テクノスにて複数学科で授業を持っている。マルチに活躍する講師　北九州観光大使も務めている。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅰ		担 当 者 名	キャリアセンター　佐藤・沼田	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	ビジネススキル（働くうえで必要な能力・技術）を修得し、卒後Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション
	2	キャリアについて考えるⅠ	20	卒後visionを磨く
	3	キャリアについて考えるⅡ	21	就活の軸を考える
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え
	5	自己探究Ⅰ	23	SDGsとこれからの働き方について考える
	6	自己探究Ⅱ	24	就職活動について考える
	7	グローバルとキャリアについてⅠ	25	就活と生成AIツールの活用についてⅠ
	8	グローバルとキャリアについてⅡ	26	就活と生成AIツールの活用についてⅡ
	9	インターンシップについて考えるⅠ	27	特別講座に向けて準備
	10	インターンシップについて考えるⅡ	28	履歴書の書き方について
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習
	12	卒後Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをやってみよう
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習
	16	グループディスカッション練習	34	卒後VISIONの確認
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り

成績割合			学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	卒後ビジョンの提出	70%		
	確認テスト（Forms）	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %
講師プロフィール	

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅰ		担 当 者 名	キャリアセンター　宮鍋・井上	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを描く(磨く)ための知識の醸成と経験の蓄積				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ありたい姿の確立と達成するための経験・スキルを身に着ける				
授業概要	インターンシップなど社会探究に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、 体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	オリエンテーション②
	2	自分の理想の人生を考える①	20	学生と社会人の違い
	3	自分の理想の人生を考える②	21	学び探究の重要性①
	4	自己探究の重要性①	22	学び探究の重要性②
	5	自己探究の重要性②	23	テクノス祭の活用①
	6	社会探究の重要性①	24	テクノス祭の活用②
	7	社会探究の重要性②	25	大学コースの価値②
	8	グローバルな働き方①	26	インターン対策③
	9	グローバルな働き方②	27	インターン対策④
	10	大学コースの価値①	28	テーマ別グループワーク①
	11	WEBテスト	29	テーマ別グループワーク②
	12	インターン対策①	30	テーマ別グループワーク③
	13	インターン対策②	31	テーマ別グループワーク④
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)①	32	テーマ別グループワーク⑤
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)②	33	卒後VISIONブラッシュアップ②
	16	卒後VISIONブラッシュアップ①	34	下期・1年の振り返り
	17	上期の振り返り・下期目標設定	35	具現抽象トレーニング②
	18	具現抽象トレーニング①	36	具現抽象トレーニング③

成績割合			学習FB方法	
	卒後ビジョンの提出	70%		アンケート、面接練習、 履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫ 40 %　■R≪実働実践型学習≫ 20 %　■A≪主体的参加型学習≫ 30%　■G≪海外体感型学習≫ 10 %
講師プロフィール	

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅰ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。″				
授業概要	″数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリエンテーション	19	速さの文章問題(2)日本文学
	2	数の計算漢字一字の読み	20	規則性などの文章問題(1)世界文学
	3	式の計算二字熟語の読み	21	規則性などの文章問題(2)国語　成績判定試験(2)
	4	数と量の文章問題(1)慣用語の読み	22	場合の数(1)民主主義
	5	因数分解(1)常用漢字外の読み	23	場合の数(2)日本国憲法
	6	因数分解(2)漢字一字の書き取り	24	確率(1)国際社会
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り	25	確率(2)資本主義経済・企業
	8	平方根の計算(1)同訓異字の書き取り	26	数学　後期成績判定テスト(1)国民経済・日本の経済
	9	平方根の計算(2)同音異義語の書き取り(1)	27	数と式の計算　復習テスト貨幣・金融・財政
	10	数学　前期成績判定テスト(1)同音異義語の書き取り(2)	28	方程式と不等式　復習テスト(1)社会　成績判定試験(1)
	11	1次方程式、連立方程式国語　成績判定試験(1)	29	方程式と不等式　復習テスト(2)日本史(1)
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り	30	総合文章題　復習テスト(1)日本史(2)
	13	不等式似形異字の書き取り	31	総合文章題　復習テスト(2)世界史
	14	数と量の文章問題(2)書き誤りやすい漢字	32	関数とグラフ　復習テスト日本地理
	15	割合の文章問題(1)同字異音・同字異訓の読み書き	33	場合の数と確率(1)世界地理
	16	割合の文章問題(2)四字熟語の読み書きと意味	34	場合の数と確率(2)思想・社会・文化
	17	数学　前期成績判定テスト(2)故事成語・諺・慣用句・金言の完成と意味	35	数学　後期成績判定テスト(2)社会　成績判定試験(2)
	18	速さの文章問題(1)語句の読みと意味	36	まとめ

成績割合			学習FB方法	
	テスト	″数学 80% 国語・社会 80%″		″数学　前期・後期　成績表送付 国語・社会　前期・後期　成績表送付″
	学習態度・出席率	″数学 10% 国語・社会 10%″		
	レポート	[illegible]	成績評価	S:90-100, A:80-89, B:70-79, C:60-69 ,D:0-59
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ		担 当 者 名	楳村 麻里子	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目（全7科目）の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「社会人の常識とマナー」「コミュニケーション論」「ビジネス文書＆メールの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化する」「自由が丘とブランディング」				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信制とリポート＆試験	19	情報分析力を鍛える①
	2	オリエンターション②リポート作成のポイント①	20	情報分析力を鍛える②
	3	オリエンテーション③年間の取組計画	21	情報分析力を鍛える③
	4	ビジネス文書＆メールの書き方①	22	考える力をつける①
	5	ビジネス文書＆メールの書き方②	23	考える力をつける②
	6	ビジネス文書＆メールの書き方③	24	考える力をつける③
	7	社会人の常識とマナー①	25	企画力を強化する①
	8	社会人の常識とマナー②	26	企画力を強化する②
	9	社会人の常識とマナー③	27	企画力を強化する③
	10	コミュニケーション論①	28	自由が丘とブランディング①
	11	コミュニケーション論②	29	自由が丘とブランディング②
	12	コミュニケーション論③	30	自由が丘とブランディング③
	13	評論読解と要約のポイント①	31	リポート作成のポイント③
	14	評論読解と要約のポイント②	32	評論読解と要約のポイント③
	15	リポート作成のポイント②	33	論理と文章構成②
	16	論理と文章構成①	34	後期内容振返り
	17	前期内容振返り	35	年間内容振返り
	18	後期リポート作成計画	36	まとめ

成績割合				
	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100　A80～89　B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%
講師プロフィール	

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援 総合Ⅰ		担 当 者 名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論、各論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせて授業内容が変わる場合もある。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	刑法(各論):第2課題
	2	オリエンテーション	20	刑法(各論):第2課題
	3	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	21	民法(債権総論):第1課題
	4	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	22	民法(債権総論):第1課題
	5	レポートの書き方①	23	民法(債権総論):第2課題
	6	レポートの書き方②	24	民法(債権総論):第2課題
	7	課題の題意把握	25	民法(債権各論):第1課題
	8	課題の題意把握	26	民法(債権各論):第1課題
	9	憲法:第1課題	27	民法(債権各論):第2課題
	10	憲法:第1課題	28	民法(債権各論):第2課題
	11	憲法:第2課題	29	憲法(残りの課題)
	12	憲法:第2課題	30	刑法(残りの課題)
	13	刑法(総論):第1課題	31	刑法(残りの課題)
	14	刑法(総論):第1課題	32	民法(残りの課題)
	15	刑法(総論):第2課題	33	民法(残りの課題)
	16	刑法(総論):第2課題	34	結果報告
	17	刑法(各論):第1課題	35	まとめ
	18	刑法(各論):第1課題	36	まとめ

成績割合				
	テスト	0%	学習FB方法	随時指導する。前期・後期成績表送付。
	学習態度・出席率	80%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫10%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でフリーランスライターでもある。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援 総合Ⅰ		担当者名	高木 佳子、原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	日大英文科で二年次に修得すべき科目である、アメリカ文学史とイギリス文学史(18世紀以降)の知識の習得と理解を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	具体的には以下の科目の単位取得を目指す。 ・イギリス文学史Ⅱ(4単位) ・アメリカ文学史(4単位)				
授業概要	基本的には毎回配布するプリントを用いて授業を行う。ただし指定教科書である『イギリス文学史Ⅱ』(日本大学通信教育学部)、『アメリカ小説入門』(研究社)に加え、適宜副次資料を配り、理解の助けとする。 また、同時進行で言及した作家の短編作を読み、内容理解と英文読解にも努める。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	スケジュール説明:レポート期限、テスト期限 ・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要1(清教徒革命の影響)	19	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis statementに着目する。 (『緋文字』)
	2	・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要2(フランス革命の影響) ・トリコロール(自由・平等・博愛)	20	アメリカ文学史⑤～⑧までの小テスト
	3	・イギリス文学史①(ロマン主義・詩)ワーズワース、コールリッジ	21	アメリカ文学史⑨ ポストモダンの時代 ⅰ ヘンリー・ミラー、サリンジャー、ビートジェネレーション、アーサー・ミラーなど
	4	・イギリス文学史②(ロマン主義・詩)バイロン、シェリ、キーツ	22	アメリカ文学史⑩ ポストモダンの時代ⅱ カポーティ、テネシーウィリアムズ、ヴォネガット、アップダイク、アーヴィングなど
	5	イギリス文学史③(ロマン主義・小説)スコット、オースティン アメリカ文学史:歴史的概要	23	アメリカ文学史⑪ マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボコフ、ピンチョンなど
	6	アメリカ文学史① 植民地時代 (ピューリタニズム) アン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベンジャミン・フランクリンなど。	24	アメリカ文学史⑨～⑪までの小テスト
	7	アメリカ文学史② 独立期から西漸運動 (ロマン主義の時代ⅰ) ブラウン、アーヴィング、クーパー、エドガー・アラン・ポーなど。	25	イギリス文学史④ ヴィクトリア朝時代ⅰ…ディケンズ、サッカレー、ブロンテ姉妹
	8	アメリカ文学史③ 独立期から南北戦争まで (ロマン主義時代ⅱ) エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマン、ディッキンソンなど	26	イギリス文学史⑤ ヴィクトリア時代ⅱ…エリオット、メレディス、ギャスケルら
	9	アメリカ文学史④ 南北戦争から第一次大戦まで。(リアリズム小説) オールコット、マークトゥエイン、ハウエルズ、ジェイムズなど	27	イギリス文学史⑥ ヴィクトリア時代ⅲ…テニスン、ブラウニングなど詩人連
	10	書籍資料を参考にして、Adventures of Huckleberry Finn の特徴(文体・内容・時代背景)を考えてみる。	28	イギリス文学史⑦ 第一次世界大戦とその周辺ⅰ…ハーディ、ヘンリージェイムズ、コンラッド、キプリングなど多数
	11	イギリス文学史①～③ アメリカ文学史①～④までの小テスト	29	イギリス文学史⑧ 第一次世界大戦とその周辺ⅱ…作家:H.Gウェルズ、スティーブンソン、コナン・ドイル。詩人:ホプキンス、イェイツ
	12	アメリカ文学史⑤ 第一次大戦と海外膨張政策 (自然主義小説) ノリス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロンドンなど	30	イギリス文学史⑨ 第一次世界大戦とその周辺ⅲ…小説家:オスカー・ワイルド、モーム、フォスター。劇作家:バーナード・ショウなど
	13	ジャック・ロンドンTo Build a Fireの読解	31	イギリス文学史⑪ 第二次世界大戦とその周辺…戦争と歴史。作家:ヴァージニア・ウルフ、ジェイムズ・ジョイスなど
	14	アメリカ文学史⑥ モダニズムの時代…狂騒の20年代ⅰ キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィリアムズ、ヘミングウェイなど。	32	イギリス文学史⑫ 第二次世界大戦から現代まで…「ゆりかごから墓場まで」 作家:ロレンス、オーウェル、グリーン、ゴールディングなど
	15	アメリカ文学史⑦ モダニズムの時代…狂騒の20年代ⅱ フォークナー、フロスト、バーンズ、ハーストン、ラングストン・ヒューズなど。	33	文学研究の「テーマ」について① "人種(Race)"
	16	アメリカ文学史⑧ モダニズムの時代…ジャズ・エイジⅲ フィッツジェラルド、ハメット、スタインベック、リチャード・ライトなど。	34	文学研究の「テーマ」について② "社会階級(Social Class)"
	17	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis statementに着目する。 (『ハックルベリーフィンの冒険』)	35	文学研究の「テーマ」について③ "性差(Gender)"
	18	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis statementに着目する。 (『ロミオとジュリエット』)	36	文学研究の「テーマ」について④ "セクシュアリティ(Sexuality)"

成績割合			学習FB方法	
	テスト			レポート課題添削、日大からのレポート課題講評、試験結果等
	学習態度・出席率	50パーセント		
	レポート	50パーセント	成績評価	科目習得試験取り組み状況、学習態度・出席状況
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30 R≪実働実践型学習≫10 A≪主体的参加型学習≫30 G≪海外体感型学習≫30
講師プロフィール	東京学芸大学・教育学研究科英語教育(英米文学)課程の修士号を取得。 都立の定時制高校ほかで英語講師を14年務めてきた。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	英語基礎Ⅰ		担 当 者 名	鈴木 良	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	大学コース日大国文学専攻の学生が、卒業に必要な英語科目8単位のうち、2単位を修得できる英語力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 日大通信教育「英語基礎」2単位のレポート課題に合格する。 2. 日大通信教育「英語基礎」2単位の科目修得試験に合格する。				
授業概要	教科書の理解、小テスト、定期試験、レポート課題作成、科目修得試験対策				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	Unit 1	19	Unit 8
	2	Unit 1	20	Unit 8
	3	Unit 1	21	Unit 8 小テスト、Unit 10
	4	Unit 1	22	Unit 10
	5	Unit 1	23	Unit 10
	6	Unit 4	24	Unit 10
	7	Unit 4	25	Unit 10 小テスト、Unit 12
	8	Unit 1 小テスト、Unit 4	26	Unit 12
	9	Unit 4	27	Unit 12
	10	Unit 4	28	Unit 12
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6	29	Unit 12 小テスト、Unit 13
	12	Unit 6、レポート作成	30	Unit 13
	13	Unit 6、レポート作成	31	Unit 13
	14	Unit 6、レポート作成	32	Unit 13
	15	Unit 6	33	Unit 13 小テスト
	16	前期期末試験	34	まとめ
	17	Unit 8	35	後期期末試験
	18	Unit 8	36	試験返却

成績割合	テスト	45%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	25%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫100%			
講師プロフィール	英文学、英語学を専門とし、日大通信教育部にて中学校、高等学校教員免許(英語)を取得			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援 総合Ⅰ		担当者名	高木 佳子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるリポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのリポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について	19	連歌の形式
	2	授業オリエンテーション 履修科目のリポート課題提出について	20	俳諧の歴史
	3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	21	芭蕉の文学
	4	国文学科目概要・講義概説	22	謡曲の種類
	5	「国文学基礎講義」リポート課題概説 リポート作成に向けて	23	「国文学講義」Ⅰ(上代) 課題1 リポート作成に向けて
	6	『日本古典文学』 第1章 古代(一記紀と風土記を読む	24	『国文学講義』1(上代) レポート課題1の作成に向けての、『万葉集』「宴席歌」について。
	7	「国文学基礎講義」課題1 リポート作成	25	「国文学講義」Ⅰ(上代) 課題1 リポート作成 テキスト以外の『万葉集』の「宴席歌」の選定
	8	『日本古典文学』 第7章 近世(一近松と西鶴の文学を読む	26	『万葉集』の「宴席歌」について
	9	「国文学基礎講義」課題2 リポート作成に向けて	27	「国文学講義」Ⅰ(上代) 課題2 リポート作成に向けて
	10	「国文学基礎講義」課題2 リポート作成	28	『万葉集』「宴席歌」から 田辺福麻呂の歌 巻18(4032～4035)
	11	「国文学概論」 リポート作成に向けて	29	『万葉集』「宴席歌」から 橘諸兄の歌 巻17(3926左)
	12	『国文学概論』(第二分冊) 物語文学	30	『万葉集』「宴席歌」 藤原朝臣仲麻呂の歌から 巻20(4242・4487)
	13	「国文学概論」課題1 リポート作成	31	『万葉集』「宴席歌」から 巻17(3943～3955)の宴席歌群について
	14	『国文学概論』(第四分冊) 近代文学	32	『万葉集』「宴席歌」から 大伴坂上郎女の歌 巻4(585・651・652)
	15	「国文学概論」課題2 リポート作成	33	『万葉集』の宴席を考える―梅花の宴を通して
	16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」	34	『国文学講義』1(上代) レポート課題の作成・提出に向けて
	17	鴨長明と兼好 『方丈記』・『徒然草』	35	授業まとめ／振り返り
	18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風	36	授業まとめ／振り返り

成績割合				
	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名	担任	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	ビジネススキル（働くうえで必要な能力・技術）を修得し、卒後Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				

授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション・就活状況の確認		19	後期の講義内容に関して＆個人面談
	2	内定後の過ごし方＆個人面談①		20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル
	3	一般常識ワーク＆個人面談②		21	一般常識ワーク＆個人面談①
	4	ビジネス書読書＆個人面談③		22	一般常識ワーク＆個人面談②
	5	【自習】目指す業界の未来を考える＆個別面談		23	ビジネス書読書＆個人面談③
	6	【自習】企業研究（国内外）＆個人面談		24	トークセッション（OBOGを招いて：社会人予備軍対象）
	7	目指す業界の未来を発表する		25	前期で上がった課題に関するワーク
	8	【自習】第二志望の業界を調べる＆個人面談		26	就職後の目標設定①
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える＆個人面談		27	就職後の目標設定②
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力（グループワーク）＆個人面談		28	コミュニケーションスキル①聴く力
	11	社会人基礎力②考え抜く力（グループワーク）＆個人面談		29	コミュニケーションスキル②理解する力
	12	社会人基礎力③チームで働く力（グループワーク）＆個人面談		30	コミュニケーションスキル③伝える力
	13	海外で働くことをイメージ		31	個人面談④　卒後ビジョンを基に
	14	一般常識ワーク＆個人面談④		32	個人面談⑤　卒後ビジョンを基に
	15	一般常識ワーク＆個人面談⑤		33	個人面談⑥　卒後ビジョンを基に
	16	前期　振り返りと課題発見		34	確認テスト・まとめ1
	17	後期の課題解決に向けたGD		35	確認テスト・まとめ2
	18	前期　振り返り		36	確認テスト・まとめ3

成績割合			学習FB方法	
	卒後ビジョンの提出	70%		確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト（Forms）	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫ 40 % ■R≪実働実践型学習≫ 20 % ■A≪主体的参加型学習≫ 30% ■G≪海外体感型学習≫ 10 %
講師プロフィール	

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名	キャリアセンター　井上・(宮鍋)	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを明確化するための知識の醸成と経験を積む。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを磨く。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク　②知識アンケート	19	オリエンテーション 前期の振り返り
	2	職業観の醸成(3名のレンガ職人)	20	社会人基礎力の確認
	3	社会探究がなぜ必要か	21	自己探究　モチベーショングラフ　自分の価値観
	4	大学コースの強み	22	社会人のコミュニケーションとは
	5	社会探究の方法　ヒント	23	学生が企画する授業①
	6	インターンシップの目的　期間と時間　活用　選び方　探し方	24	学生が企画する授業②
	7	インターン対策①履歴書編	25	冬のインターンシップの準備
	8	グローバルな働き方	26	図書館　感銘を受けた本ワーク
	9	職業人講話	27	ガクチカを具体的に表現する方法
	10	インターン対策　ルールマナー編＆自己探究	28	自己PR 動画作成
	11	インターン対策　面接編	29	オンライン面接の練習
	12	夏のインターン報告会趣旨説明	30	Gディスカッション練習
	13	インターン計画	31	Gワーク練習
	14	夏のインターン報告会	32	エントリーシートの書き方
	15	自己探究　自分から見た強み　社会から見た強み	33	冬のインターン報告会
	16	先輩に学ぶ	34	自分のありたい姿、磨き直しワーク
	17	社会探究ワーク	35	自分のありたい姿、磨き直しワーク
	18	社会探究ワーク	36	自分のありたい姿、磨き直しワーク

成績割合				
	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫ 40 %　■R≪実働実践型学習≫ 20 %　■A≪主体的参加型学習≫ 30%　■G≪海外体感型学習≫ 10 %
講師プロフィール	

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅱ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。″				
授業概要	″数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	数学　中間テスト1回目　　国語　語句の読みと意味
	2	オリエンテーション	20	数学　中間テスト2回目　　国語　日本文学
	3	オリエンテーション	21	数学　中間テスト2回目　　国語　日本文学
	4	国語　オリエンテーション 数学　百分率・歩合	22	数学　百分率・歩合・速度　国語　成績判定試験
	5	数学　速度　　国語　漢字の読み・諺	23	数学　単位・比例と比例式　社会　民主主義
	6	数学　単位　　国語　授業のみ	24	数学　小テスト　　社会　日本国憲法
	7	数学　比と比例式　　国語　漢字の読み・諺	25	数学　倍数・約数　　社会　国際社会
	8	数学　倍数・約数　　国語　慣用語・常用漢字外	26	数学　因数分解　　社会　資本主義経済・企業
	9	数学　因数分解　　国語　漢字一字の書き取り	27	数学　小テスト　　社会　国民経済・日本の経済
	10	数学　一次方程式　　国語　二字熟語の書き取り	28	数学　一次方程式・連立方程式　社会　貨幣・金融・財政
	11	数学　連立方程式　　国語　同訓異字の書き取り	29	数学　二次方程式　　社会　日本史(近世・近代・現代)
	12	数学　二次方程式　　国語　同音異義語の書き取り	30	数学　小テスト　　社会　世界史
	13	数学　図形の面積　　国語　同音異義語の書き取り	31	数学　図形の面積　　社会　日本地理
	14	数学　図形の体積　　国語　対義語・類義語の書き取り	32	数学　図形の体積　　社会　世界地理
	15	数学　一次関数　　国語　似形異字の書き取り	33	数学　小テスト　　社会　思想・社会・文化
	16	数学　二次関数　　国語　書き誤りやすい漢字	34	まとめ
	17	数学　場合の数　　国語　同字異音・異訓の読み書き	35	まとめ
	18	数学　確率　　国語　四字熟語の読み書きと意味	36	まとめ

成績割合			学習FB方法	
	テスト	数学 60%　国語・社会 40%	学習FB方法	成績通知
	学習態度・出席率	数学 40%　国語・社会 0%		
	レポート		成績評価	S90～100点　A80～89点　B70～79点　C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%
講師プロフィール	″数学担当　　最終学歴:岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。 国語・社会担当　最終学歴:慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。″

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	特別講座2A 大学支援　総合Ⅱ		担 当 者 名	若林 芳勝	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目（全8科目）の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「人材マネジメント論入門」「ストリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」 「リーダーシップ論」「チームマネジメント論」				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	講義
	2	オリエンテーション	20	講義
	3	講義	21	講義
	4	講義	22	講義
	5	講義	23	講義
	6	講義	24	講義
	7	講義	25	講義
	8	講義	26	講義
	9	講義	27	講義
	10	講義	28	講義
	11	講義	29	講義
	12	講義	30	講義
	13	講義	31	講義
	14	講義	32	講義
	15	講義	33	講義
	16	講義	34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ	35	定期試験に向けて総まとめ
	18	定期試験に向けて総まとめ	36	定期試験に向けて総まとめ

成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100　A80～89　B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%			
講師プロフィール	経営学の知識は社会に出てから必ず必要とされます。一緒に学習しましょう。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1, 民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②
	4	民法1第4課題の解説①	22	民法1第1課題の解説①
	5	民法1第4課題の解説②	23	民法1第1課題の解説②
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②
	8	民法2第1課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①
	9	民法2第1課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②
	18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③

成績割合				
	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫5%
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	以下の日大科目に合格する。 1. 英語Ⅰ(2単位) 2. 英語音声学(4単位) 3. 英文法(4単位)				
授業概要	教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	英語Ⅰレポート課題	19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2
	2	英語Ⅰレポート課題	20	英文法レポート課題2
	3	英語Ⅰレポート課題、英語Ⅰ試験対策	21	英文法レポート課題2
	4	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:調音器官、単音について	22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	5	休講(みどりの村)	23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	6	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	7	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	8	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	9	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	10	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	28	英語文学概説レポート課題1
	11	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題1	29	英語文学概説レポート課題1
	12	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	30	英語文学概説レポート課題2
	13	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	31	英語文学概説レポート課題2
	14	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	32	スピーチコミュケーションレポート課題
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	33	英作文レポート課題
	16	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	34	まとめ
	17	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	35	後期期末試験
	18	前期期末試験	36	試験返却

成績割合				
	テスト	20%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	70%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60%　R≪実働実践型学習≫40%　A≪主体的参加型学習≫40%　G≪海外体感型学習≫100%
講師プロフィール	

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	月本 直子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びそのその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するリポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のリポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論「敬語」
	3	国文学史Ⅰ リポート作成	21	国語学概論「日本語教育」
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」
	5	国文学史Ⅰ リポート作成	23	リポート作成
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 「『新思潮』と大正期教養主義」
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」
	16	リポート作成に向けて	34	まとめ
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ
	18	国語学概論 「意味」	36	まとめ

成績割合				
	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。
	学習態度・出席率	30%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫60% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫20%
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。